

【令和7年度分 様式3】

令和7年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 67 ） 学校名 豊田市立新盛小学校

1 テーマ

未来を見つめて、よりよい地域や自分のあり方を追究する子どもの育成
—「新盛学習」とコミュニケーション能力を高める活動を通して—

2 ねらい

- ・地域の「ひと・もの・こと」を活用した「新盛学習」（生活科及び総合的な学習の時間）において、地域愛、追究力、未来観、社会性を6年間で系統的に育成する。また、次代を担う人間に必要なコミュニケーション能力を、一行詩創作、暗誦、対話活動をはじめとして、各教科の授業において段階的に育成する。
- ・小規模校で児童・教職員が少なく、環境整備に手が行き届かないため、新盛学習にかかわる敷地内の整備や学校園の整備を中心に、校内整備員の力を借りる。
- ・体力向上指導員による効果的な指導で児童の体力や意欲の向上を図る。

3 活動内容

（1）新盛学習

1・2年生は、生活科の学習で野菜作りや昔の遊びを教えていただく学習をした。畑の土おこしは校内整備員が行い、学習の準備をした。野菜作りが始まると、地域の方と一緒に畝を作ったり、おいしい野菜を作るためのコツを教えていただいたりした。また、地域の施設「すげの里」で地域の方に昔の遊びを教えていただく活動も行った。学校菜園で作ったサツマイモを使い、さつまいもご飯をふるまうなど、地域の方とのつながりを深めることができた。

本年度から学校近くの田んぼをお借りし田植えを行った。その田んぼに鹿の侵入が見られ、地域の方が防獣対策を施してくださったことを知った3・4年生は、地域の害獣対策について考える学習を行った。地域で害獣対策に取り組む方を講師に招き、害獣対策に関わる様々な思いをうかがった。それを元に、学芸会では、動物の立場、人間の立場、害獣対策をしている方の思いなどを児童なりにとらえ、創作劇を発表した。さらに、保護者をはじめとする地域の方々に自分たちの思いを訴えることができた。地域が抱える害獣問題を身近にとらえ、こうした問題に立ち向かう地域の人々の前向きな姿勢に触れることができた。

5・6年生は足助地区の歴史について、講師の先生に教えていただいた。子どもたちが日ごろより出かけている足助の街に自分たちが知らない歴史がたくさんあることを知り、一層足助の街に興味を持つことができた。学芸会では、足助の街について学んだことを、パソコンでパワーポイントを使ってまとめ、地域の方に発信する活動ができた。

新盛学習を通して、地域の「ひと・もの・こと」と深くかかわり、学年に応じた地域愛、追究力、情報発信力を育てることができた。

（2）コミュニケーション能力育成の取組

①暗誦活動

- ・朝の暗誦活動や入学式、学芸会等の学校行事での暗誦発表を実施した。

②一行詩創作活動

- ・生活の中での感動等を毎週一行詩（川柳）として表現し学級通信に掲載した。
 - ・年2回（夏6月・冬12月）の一行詩集会を実施した。
 - ・季刊一行詩集「やまもも」に一人一作品を掲載し、学区全世帯へ配付した。
 - ・長期休業中は親子で一行詩づくりに取り組み、「やまもも」に掲載した。
- ③対話集会
- ・各学級で週に1回の対話トレーニングを実施した。各学級で学んだことを発揮する場として、月1回程度で全校対話集会を行っている。集会後、対話スキル向上に向けた取組を職員間で話し合い、各学級の指導に生かした。
- ④コミュニケーション能力育成にむけた各活動の紹介
- ・一年間の一行詩創作活動、暗誦活動、対話活動のまとめとして、一行詩詩集、暗誦文集、作文集を合本にした「やまもも」を作成。全家庭へ配付した。
- ⑤地域の方への感謝
- ・「新盛学習」や登下校等でお世話になった地域の方々を招き、学校の田んぼで収穫できた米を使い、児童手作りの五平餅を振舞う「感謝の会」を開催した。

（3）学校補助員の活動

- ①校内整備員
- ・運動場周りや学校園の手入れを行い、児童が安心して活動できる環境整備を行った。
- ②体力向上補助指導員
- ・全学年の体育の授業にTTとして参加し、模範演技をしたり技能習得のポイントを説明したりするなどした。効果的な指導のおかげで、体育を苦手とする児童の意欲が向上した。

4 成果と課題

- ・知っているようで知らなかった自分たちの住む地域について関心を深めることができた。※「いつも出掛けている足助の街にこんなにすごい歴史があるなんて知らなかった。新盛地区にも自分たちの知らなかった歴史があるかもしれないから調べてみたい」（6年生児童の振り返りより）
 - ・調べたことをたくさんの人がわかるように伝える方法を学ぶことができた。
- ※「自分たちも知らない歴史や防獣対策を知り、大人も勉強になった」（学芸会後の保護者アンケートより）
- ・あすけ集合学習、校内の様々な行事において、児童が自発的に自分の思いを発表することが増えた。※（あすけ集合学習で感想発表がたくさんできたことについてほめると）「対話トレーニングのおかげだ」（6年児童のつぶやきより）
 - ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動をおこなっているか」の項目について、令和6年度と同じ平均値3.47の評価を得た。この値は、市の平均値3.29と比較しても高い評価であるといえる。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・毎日のホームページにおいて、活動の様子を紹介した。（年間150件以上）
- ・学校だよりでも学校としての取組、学級としての取組を紹介した。（年間20回以上）
- ・学芸会において新盛学習で学んだことを発表する機会を設け、保護者や地域の方にも参観していただいた。また、特色ある学校づくり推進事業の取組について学校運営協議会においても活動内容を報告した。